

生物活用「お庭の活用と循環型社会」

12月16日（木）㈱タケダ造園で校外学習を行いました。

代表取締役の竹田様からお庭の価値の最大化。家庭での豊かな暮らしとはどのような暮らしをいうのか。そして、環境保全を考えた園芸資材の再利用についてお話をいただきました。



- ・出雲流庭園の特徴は、お殿様のかごを置く大きな「かご石」がある。そして、私の住む斐川に多い。どこも同じ配置の庭のようだ。和風庭園で茶道をすることで、庭を使った文化を味わうことができる。「枯滝石組」は、斐伊川上流をイメージしたもの。石や木をリサイクルした活用も考えてある。
- ・「リサイクル真砂土」を使うことで、安く庭を作ることができる。そして、何より環境保全につながる。「いろり部屋」で、お湯を鉄瓶で沸かしながら「和」の雰囲気を楽しむことができる。
- ・タケダ造園では、「庭づくり」だけでなく、いろいろな「お庭の教室」を開いていると聞き、庭作りしたい人が専門性を高める素晴らしいことだと思いました。また、海外向け特にフランスに庭園作りを発進されているとお話を聞き、もっと世界各地に広まるといいなと思いました。今回、会社の周りをツアーさせてもらい、庭園や資材置き場など見せて戴きました。私は、見た中で「待合場所」と「茶室」が一番でした。現代の家では、見られないもの。見ただけで一気に懐かしい気分になれるもの。植物の配置が自然でいいデザインだと思いました。
- ・「出雲流庭園」は、出雲にしかない庭園。江戸時代に大名を乗せたかごが来た。玄関先まで、かごは来て庭の飛び石の上に置かれた。歴史を知って、庭園を見学することでさらに趣を感じ、季節の良さや楽しさを知ることができる。ぜひ、夏にもう一度見学して、斐伊川上流の激しさを庭園から感じたいと思いました。また、ここには「木のトンネル」があり、小さい頃遊びに行った森を思い出しました。このような懐かしさを感じる造りがあれば、いつも豊かな心でいられると思いました。庭園は魅力的だと感じました。



- ・私は、学校近くに「タケダ造園」という会社があることは、知っていました。ここが、本部とは知りませんでした。たくさんの専門部門で構成され、様々な事業をしておられ驚きました。茶道教室やバラ教室もあり、ビックリしました。色々な種類のバラが植えてあり、咲いたときは見事だろうなと思いました。日本庭園は、とても上手に造られておりすごいと思いました。斐伊川をモチーフに和風が感じられました。
- ・土や石、木をリサイクルして、販売しておられました。資材置き場は、整理整頓され名称が書かれわかりやすく置いてありました。出雲流庭園もわかりやすくお話しして戴きました。
- ・使わなくなった石は細かく砕いて利用している。石だけでなく、木も再利用されている。「枯滝石組」は、斐伊川がイメージされ、上から下にかけて石が小さく配置されていた。
- ・東屋では、バーベキューが楽しめるようになっていた。海外向けに、畳1つ分の庭が販売されていた。
- ・ここでは、家庭での豊かな暮らしを創出するために、お庭の価値を最大化する取り組みをしておられることが分かりました。リサイクル真砂土もあり、環境にやさしいと思いました。北山や周りの自然を取り入れてお庭が楽しめる工夫に魅力を感じました。置くだけで庭になるものあり、造りやすく本格的な庭園が楽しめてすごいと思いました。
- ・今まで、日本庭園についてじっくり見たり考えたりしたことが無かったので、とても良い体験になりました。

